

もいのにぎわい通信

2022年3月26日 定例活動報告

日時：2022年3月26日（土）9：00～12：00

場所：小山町 観音地

天候：曇り 気温 14～19℃ 湿度 72% 風向 南 風速 6.8m/s

参加者：29人：子ども5人、大人24人（内土地改良区3人）

■活動

9:00 集合

枯れたマツの焼却作業

9:30 作業開始

伐採材チップを敷く作業、枯れたマツの伐採

10:30 休憩

チップを敷く作業、伐採木の運搬・焼却

焼き芋

12:00 解散

15:00 除草作業

16:00 消火を確認

16:30 池に水を補充(150L)

■活動報告

今日は明け方に雨が降ったようですが、天気予報によると午前中は曇ってしまいました。日曜日の午前中が雨とのことで中止するかどうかが迷いましたが、遠くから参加される方への連絡の為、午前7時には決行することにしました。午前9時前に小雨がぱらつき心配しましたが、午後4時半頃までは幸運にも雨が降らず、無事枯れマツの焼却を終えることが出来ました。

2019年の台風15号、19号で多くの樹木が倒され入口を塞ぎ看板も押しつぶされてしまいました。樹木はゴルフ場からのものなので、時間がかかりましたが片づけてくれました。しかし、入口の柵と看板の修理は不可抗力ということで修理はしてもらえず暫く放置していましたが、1年後セブンイレブン助成金で老朽化したツリーハウスを解体・撤去した際、工事業者の東部産業(株)さんに無料で応急処置を実施して頂き、とりあえず入口の機能は回復することが出来ました。今回ようやくクラウドファンディング資金で既存入口柵及び看板を撤去し、新しい入口柵及び看板に替えることが出来ました。

本日の作業はマツクイムシで枯れたマツの伐採作業及び焼却作業と前回残ったチップを敷き詰める(チップ舗装)作業です。最初に前回定例作業で伐採した枯れたマツの焼却作業を開始しました。事前に消防署に届出書を出して消火用に400Lの水を入れた給水タンクを用意しました。

明け方の雨で焼却するマツが湿ってしまっていたので、ガソリンを使い点火し、燃えやすい竹を集めて焼却を開始しました。風も適当にあったので何とか燃やすことが出来ました。

土地改良区の皆さんはチェーンソーを使って南側斜面林で枯れたマツの伐採作業を開始しました。斜面林はクズが密集しジャングル状態になっており、クズを切りながらの伐採となり大変な作業です。伐採したマツにもクズが絡まっており、斜面から運び出すのも大変な作業でした。

何とか10本を伐採しましたが、約20本程度は次回の作業としました。

チップ舗装作業ですがスコップでチップを一輪車に乗せ運び降ろして敷き詰める作業です。前はチップが細かいのとカラカラに乾燥していたこともありチップから砂煙のように埃が舞い大変な作業でしたが、今回は明け方の雨で埃が舞うこともなく、チップの量は前回並みでしたが、休憩時間前に終了することが出来ました。大変な作業でしたが、無事終了。

皆さんのご協力に感謝しております。

最後に焼却作業で出来た熾火で焼いた焼き芋をみんなでご馳走になりました。甘くて美味しい焼き芋でした。解散後、交代で星野夫婦、金井さん、宮原さんで焚火の番をしました。

途中、私と金井さん、宮原さんで刈払機を使い除草作業を行ないました。

午後4時に焚火の消火を確認し、水タンクに残っていた水150Lを池に補充し、解散しました。

(記録：星野 正人)

.....

お知らせホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例会は、4月23日(土)(雨天の場合4月24日(日))除草作業、クズの蔓切、枯れた松の伐採を行う予定です。



集合写真



ガソリンで点火、奥は軽トラに載せた消火用給水タンク



枯れたマツの焼却作業



大勢でチップ舗装作業



平らにならす作業



枯れたマツの伐採作業





ジャングル状態？



除草作業



休憩



丸太ベンチに農業用ビニールをかけました。



シイタケ採りに向かう



熾火で焼いた焼き芋



美味しそう



うまく焼けたようです。



これまでの入口柵・看板



一新された入口柵・看板



ニホンアカガエルの卵塊



ニホンアマガエル



ヤブツバキ



トサミズキ